

新卒採用サイトとハローワークからも 抜きん出た高度外国人材が応募してくる。

COMPANY

株式会社青南商事



企業概要

- 企業名:株式会社青南商事
- 所在地:青森県弘前市神田5-4-5
- 設立年:1972年
- 資本金:9,800万円
- 従業員数:633名
うち高度外国人材3名
- 国籍内訳:アメリカ1名、中国1名、韓国1名
- 業種:総合リサイクル業
- ホームページ:<https://seinan-group.co.jp>

事業内容

創業以来50余年にわたり、鉄・非鉄、自動車、容器包装などのリサイクルを手がける。東北6県の廃棄物の引き取りから解体、最終処分までを行い、廃棄物をエネルギーに変えるサーマルリサイクルも実現している。

企業インタビュー



課長
花岡 善仁 氏
担当部署:総務部 総務課

高度外国人材を受け入れたきっかけ・背景

応募者の中で高評価だった人材がたまたま外国人だった

初めて高度外国人材を受け入れたのは、12年前です。ただ、高度外国人材を募集したわけではなく、新卒採用活動をしていたら、中国人留学生が応募してきました。当時、面接を担当した社長によると、ひときわ優秀だったようです。実際、すごく積極的に仕事に取り組んでくれましたね。以来、応募者の中から、国籍は関係なく、業務に最もふさわしい人材を採用する方針としています。

高度外国人材受け入れに当たっての取組内容

外国人のための取り組みはなく、待遇は日本人社員と同じ

高度外国人材の受け入れに当たっての特別な取り組みはありません。入社してからのステップは日本人社員と同じで、まず、新人社員研修を受けてもらいます。これは、11カ月かけて東北6県の各支店を回りながら、仕事を覚えるというもの。自宅から遠い地域での研修は、家具家電付きアパートを用意しています。また、配属が決まったあと、アパートを借りる場合は社宅扱いとして家賃を補助します。

高度外国人材採用に当たっての課題と解決策

面接では日本語力とコミュニケーション力を見極める

新卒者の選考ステップは一次面接・適性検査・最終面接となっていて、高度外国人材も日本人も同じです。選考基準も特に変わりません。ただ、社内には英語や中国語、韓国語をうまく話せる社員がいないので、仕事に支障のないレベルの日本語ができるのが望ましいです。最終面接は、社長が英語で対応することも。本社にいるアメリカ人社員は、「もうちょっと日本語を勉強しよう」と言われたのだとか。もっとも津軽弁も物ともせず、積

極的に日本語でコミュニケーションを取っていますけれどもね。

入社には至ったものの、日本語で苦戦する人もいます。日常会話は問題なくても、ビジネス文書や漢字はなかなか難しいですから。言葉が通じないときは、その都度、その意味を説明したり、ほかの言葉に置き換えたりして、理解してもらるように工夫しています。

高度外国人材定着に当たっての課題と解決策

定着の鍵は、日本語能力と適材適所と考えられる

現在在籍している中国人社員は7年、アメリカ社員は2年半、韓国社員はまもなく丸2年になり、このまま定着してくれるといいですね。過去にいた高度外国人材の退職理由は、だいたい三つ。まず、事情があって帰国しなければいけなくなったから。次に、新たなステージに挑戦したいから。そして、仕事についていけないから。問題は三つ目です。能力を買われて入社したのに、「仕事が難しい」と本人が感じて退職ま

で至るのは、もしかすると日本語能力が原因かもしれません。これはもうコミュニケーションを深めて、解決していくしかないと思います。

もう一つ考えられる要因は、配属のミスマッチ。本人が能力を最大限に発揮できるように、適材適所の人員配置を考えなければいけないですね。

高度外国人材活用による成果・変化

外国人顧客の対応がスムーズにできるようになった

当社の場合、全社員633人のうち、高度外国人材は本社・仙台支店・酒田支店に1人ずつ。ですので、社内の雰囲気が大きく変わったという実感はそれほどないですね。そもそも個々の性格も業務内容も異なるから、「高度外国人材」とひとくくりにして成果や変化を測れるものでもありません。

強いていえば、一番の成果は、外国人対応がスムーズになったこと。

当社は、50年の歴史の中で培ってきた技術を用いて、韓国と中国を拠点に、海外にも事業を展開しています。海外企業との取引があり、外国人からの電話を受けたり、来社時に案内をしたりすることも。今は、高度外国人材3人の母語である英語・中国語・韓国語での対応ができるようになりましたので、ずいぶんと助かっています。

高度外国人材社員インタビュー

INTERVIEW

システムエンジニアとして、 会社の安全を守りたいです。

入社理由

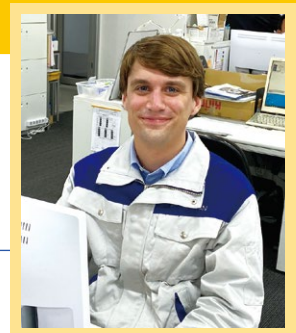
アメリカの専門学校を卒業してIT企業で働きながら、大学の夜間コースを卒業しました。その後、青森の友人を訪ねたのがきっかけで、弘前大学大学院に進学、計算言語学を専攻して、津軽弁を研究していました。津軽地方から離れがたく、地元ハローワークに通っていたら、青南商事の求人が出たのです。システムエンジニアとして働けるのですぐに応募しました。

東北地域で働く理由・良さ

出身地はアメリカのウィスコンシン州で、のどかな田舎町に暮らしていたので、東北地域は落ち着きます。歴史ある建物が好きなので、由緒ある神社や茅葺き屋根の古い家が残っているのもいいですね。ぬぶたを始め、津軽地方の文化や伝説も魅力があって、大学卒業後もこの地に住み続けたいと思いました。毎日、社内で津軽弁を聞けるのも楽しいです。

GWIDT VANCE 氏 (グイット ヴァンス)

国籍：アメリカ 2021年入社



業務内容

システム部のシステムエンジニアとして、社内のITインフラの管理を担当しています。主な業務は、ネットワークとデータセンターの管理です。仕事で一番難しいのは、日本語かもしれません。IT関係の複雑な話になると翻訳ソフトに頼ることも。ただ、そもそもIT用語は基本的に英単語をそのまま使っているため、同じ部署内では、意思の疎通に困ることは少ないです。

今後のキャリアプラン

アメリカのIT企業で9年、青南商事で2年半、システムエンジニアとしてやってきて、コンピュータシステムを深く理解していると自負しています。これからもネットワーク化やプログラミング、サイバーセキュリティ、OSなど、様々な分野の最新知識を学び続け、青南商事のコンピュータシステムの環境を常に安全に保つのが、自分のミッションです。